

# 国土強靱化に向けた新潟の提案（概要版）

## －防災首都・救援拠点の必要性－

### 新潟の優位性

- ・首都圏と同時に被災しない 太平洋側との同時被災の可能性が極めて低い
- ・首都圏から300km圏内 迅速かつ強力な支援が可能（関越ルートで前線埼玉へ直結）
- ・拠点基盤と救援実績 本州日本海側唯一の政令市 被災地復旧・支援実績を持つ

- 主要な交通インフラが集中するとともに、首都圏まで複数のルートが存在
- エネルギー面においても拠点となる可能性

中越地震・中越沖地震・東日本大震災の経験  
「被災地支援のノウハウ」 「救援拠点としての実績」

日本海側総合拠点港 新潟東港

港湾



エネルギー



日本海LNG・東新潟火力発電所・新潟石油共同備蓄基地（新潟石油共同備蓄HPより）

2014/2/26



北陸道・磐越道・日東道の結節点  
新潟中央JCT

高速道



国際空港 新潟空港

空港



上越新幹線

食料

新幹線

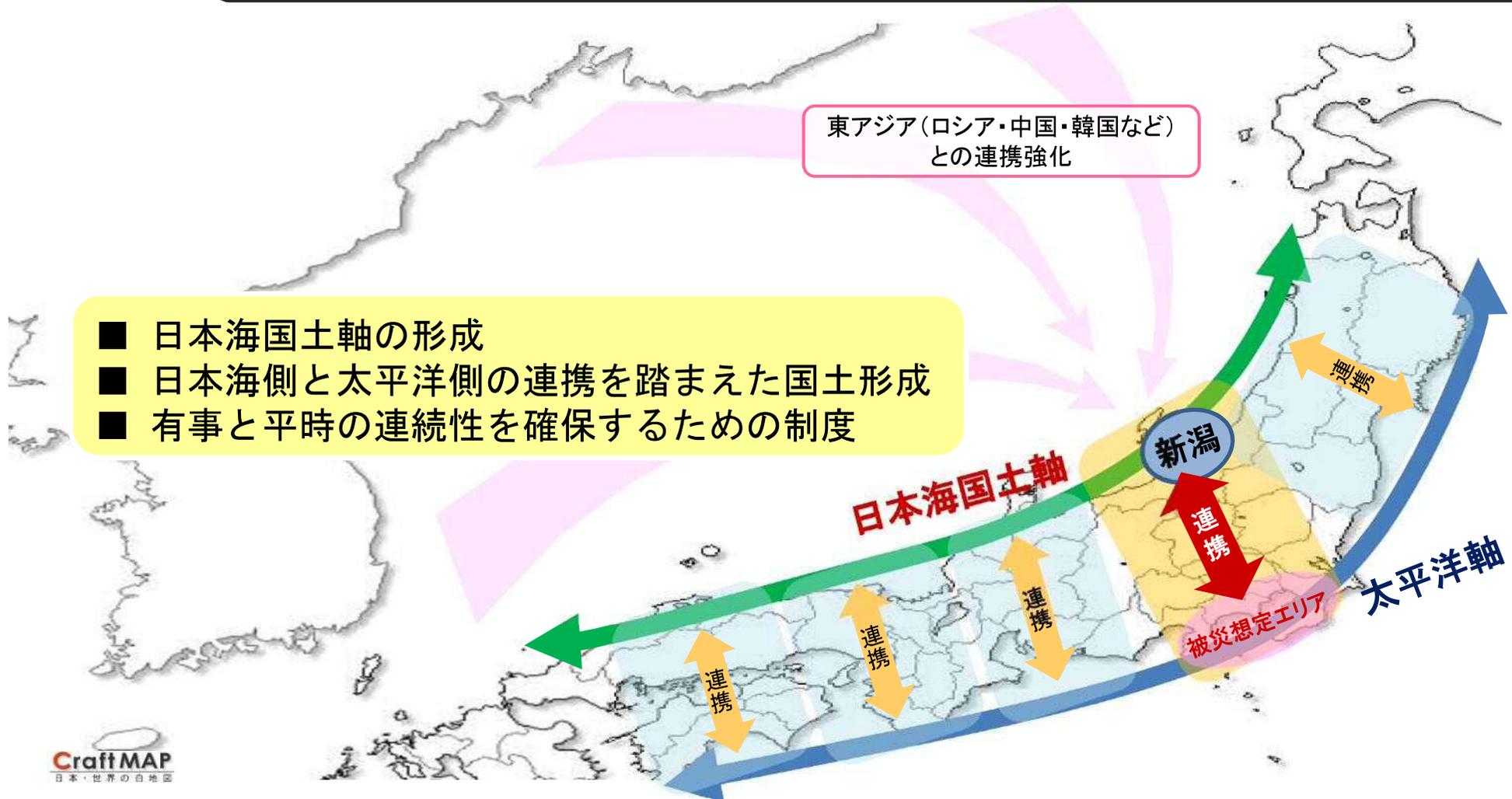


日本有数の食料生産力



## 災害に強い国土づくり

- ・ 太平洋側は、今後30年以内に**巨大地震が発生**する可能性が高い
- ・ **首都直下型地震**が発生した場合、インフラ・エネルギー・産業などに大きなダメージ
- ・ **国土強靱化**のためには、太平洋側のバックアップ体制を**平時から構築**しておくことが必要



## 新潟の提案 —個別提案と地域連携—

- ・ 港湾、空港、鉄道、道路などをはじめとする交通インフラの整備
- ・ 有事の際を見据えたエネルギー供給体制の構築
- ・ 事業継続の視点での機能分散や企業連携、新産業推進の支援
- ・ 県内連携や太平洋側との地域連携などにより提案の効果がより高まる

分類	方向性
インフラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新潟東港の早期整備と空港機能再編検討</li> <li>● 貨物ターミナルの整備・拡充</li> <li>● 日本海縦断鉄道の維持・強化と旅客拠点の整備</li> <li>● 国道・高速道のミッシングリンク解消</li> </ul>
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ガスパイプライン網の整備</li> <li>○ 石油製品備蓄・供給体制の構築</li> </ul>
産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業の機能分散・連携への支援</li> <li>● 新産業推進への支援</li> </ul>
地域連携 首都圏バックアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内連携の強化による新潟の存在感向上</li> <li>○ 太平洋側との連携強化による</li> </ul> <p>「自立・分散・協調」型国土の形成</p>

## 目標

- 大規模自然災害が発生したときでもすべての人命の保護が最大限図られる
- 大規模自然災害発生直後から救助・救急・医療活動等が迅速に行われる
- 大規模自然災害発生後であっても、経済活動(サプライチェーン)を機能不全に陥らせない
- 大規模自然災害発生後であっても、生活・経済活動に必要な最低限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る

### 重点プログラム

⑥・⑦・⑩・⑪・⑫・⑬・⑭

#### ■果たす役割

- ・ 救援物資の輸送基地 救援物資 収集・積み込み
- ・ 物流の結節点 貨物 受入
- ・ エネルギー基地 エネルギー 備蓄・供給

#### 東港コンテナターミナルの早期整備

航路・泊地  
-12m ⇒ -14m

・ バース整備  
・ ガントリークレーン増設



貨物鉄道接続

・ 泊地理立・ヤード整備

A

### 重点プログラム

①・②・⑥・⑦・⑩

#### ■果たす役割

- ・ 救援物資の輸送基地 救援物資 迅速に収集・積み込み
- ・ 物流、人流の結節点 首都圏 太平洋側の代替

#### 国・県・市の連携による機能強化

空港サウス地区有効利用の検討  
・ 航空機整備施設 ・ 小型機格納庫



沖合展開など空港の拡充検討

空港機能を活用した関連産業の育成

B



## 目標

- 大規模自然災害発生直後から救助・救急・医療活動等が迅速に行われる
- 大規模自然災害発生後であっても、経済活動(サプライチェーン)を機能不全に陥らせない
- 大規模自然災害発生後であっても、生活・経済活動に必要な最低限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る

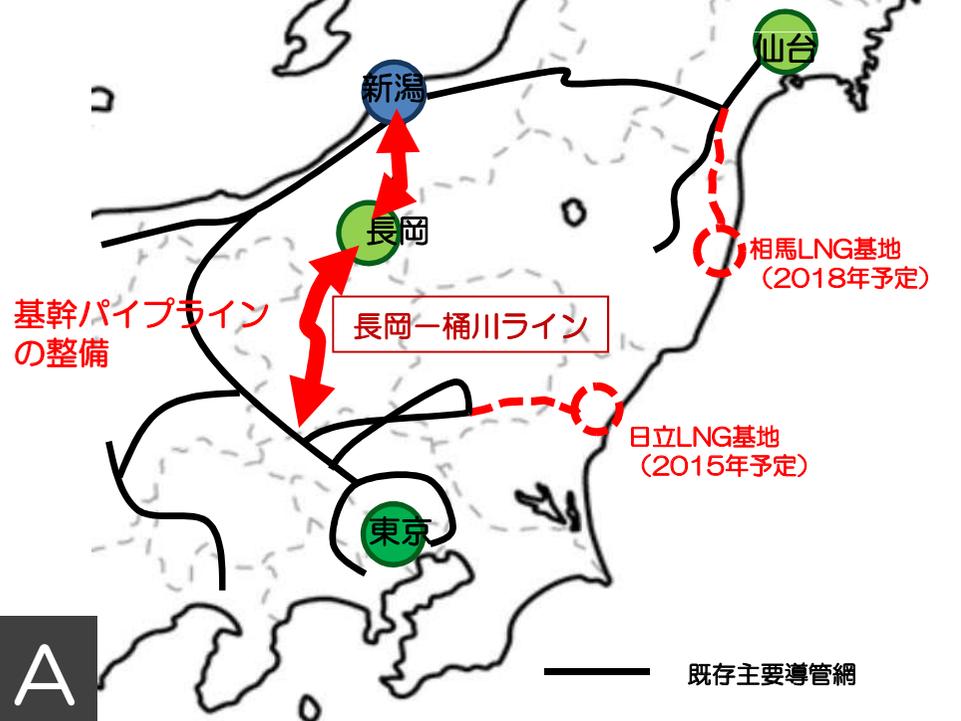
### 重点プログラム

⑥・⑩・⑪・⑭

#### ■果たす役割

- ・ 救援物資の輸送ルート エネルギー 迅速に供給
- ・ エネルギー基地 エネルギー 安定的に供給

国産天然ガス・枯渇ガス田の貯留機能に加え、  
各LNG基地を活用した救援機能の強化

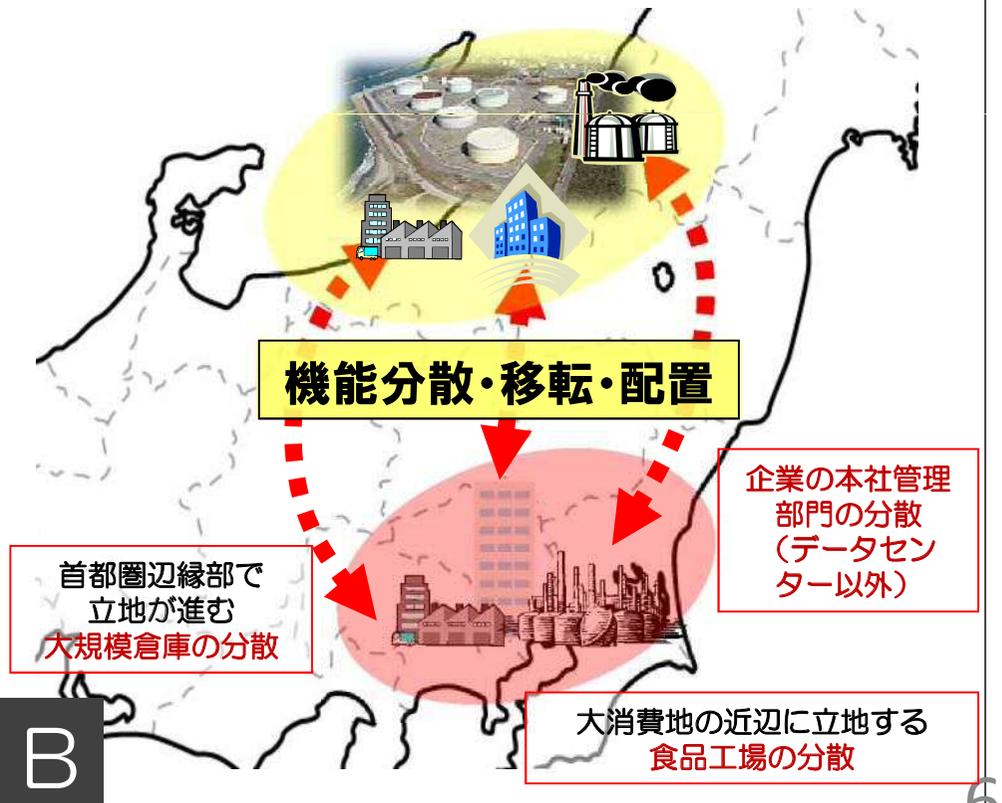


### 重点プログラム

⑥・⑧・⑪・⑭

#### ■果たす役割

- ・ エネルギー基地 エネルギー 製品備蓄・供給
- ・ 災害に強い産業構造の構築  
自立・分散・協調による事業継続の推進





### 目標

■ 大規模自然災害発生直後から救助・救急・医療活動等が迅速に行われる

■ 大規模自然災害発生直後から必要不可欠な行政機能は確保する

■ 大規模自然災害発生後であっても、生活・経済活動に必要な最低限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る

### 重点プログラム

⑥・⑧・⑨・⑩・⑬

#### ■ 果たす役割

- ・ 国内屈指の農業力と交通インフラを活かし、迅速に救援物資を送る農商工の連携・6次産業化の推進により、応急用食料の調達体制構築
- ・ 被災地支援実績を活かした支援人材の派遣・支援ノウハウの伝達

人流



国内屈指の食料基地と食品産業

LNGの受入を始めとする  
日本海側拠点港としての連携

直江津

県内連携強化

SEA & RAILにより県外へ

物流

空港利活用の  
全県連携



コンテナターミナルへの  
鉄道乗り入れと連携した  
SEA & RAILの活用可能性



## ■ 近隣都市による首都圏等への広域連携支援



## ■ 石油製品備蓄機能を活用した燃料支援



## ■ 平時の連携(相互利用)による拠点性強化

新潟港 ⇄ 内陸(北関東) ⇄ 太平洋側港湾

新潟港に接岸可能

トン	バース水深	寄港率
~39,999DWT	13m	70%
40,000DWT~ 59,999DWT	15m	8%
60,000DWT~ 99,999DWT	16m	17%
100,000DWT~	16m	5%

